

建礼門院の六道語りと「中世六道絵」

●講師 早稲田大学文学学術院教授・山本 聡美

『平家物語』巻末の灌頂巻には、平清盛の娘である建礼門院が、自らの人生を六道輪廻に譬えて回想する場面がある。

久寿二年（1155）頃に生まれた建礼門院の前半生は、高倉天皇の中宮、そして安德天皇の母として栄華を極めた。しかし平家一門と共に都落ちを余儀なくされた寿永二年（1183）以降は暗転し、元暦二年（1185）の壇ノ浦合戦において、安德は建礼門院の母二位尼（平時子）に抱かれて海中に沈み、彼女の目の前で一門は滅亡する。

ひとり生き残った建礼門院は京へ戻り、出家の後、大原寂光院で一族の菩提を弔って晩年を過ごした。

『平家物語』が成立する13世紀になると、建礼門院の姿に、六道絵などの仏教絵画の世界が重ねられ、生きながらにして六道輪廻を体験した女性としてのイメージが定着することとなる。この講義では、『平家物語』における建礼門院の六道語りと『中世六道絵』をあわせて読みとく。（講師記）

講師プロフィール



1970年、宮城県生まれ。
早稲田大学文学学術院教授。文学博士。専門は日本中世絵画史。大分県立芸術文化短期大学専任講師、金城学院大学准教授、共立女子大学准教授・同教授を経て、2019年から現職。著書に『闇の日本美術』（ちくま新書）、『九相図をよむ 朽ちてゆく死体の美術史』（KADOKAWA、平成27年芸術選奨文部科学大臣新人賞・第14回角川財団学芸賞を受賞）など。



「大原御幸図」（長谷川久蔵筆、16世紀、東京国立博物館蔵）

日時 令和7年10月17日（金）
14:00～15:30

受講料 3,500円

お申し込み方法 052 684 5894 (tel, fax)

ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。
三菱UFJ銀行 栄町支店 普通預金口座
0160603 名義:ソクシャソフィ
または当日ご持参ください。

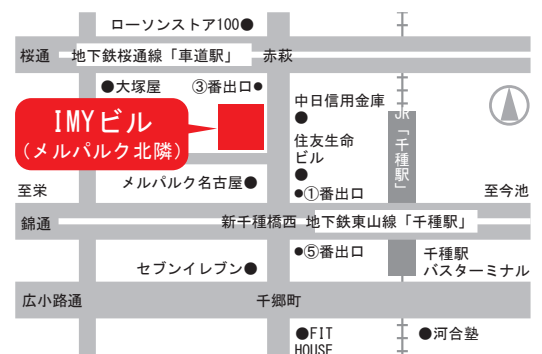
お申し込み・お問い合わせは

会場案内図

IMY（アイエムワイ）ビル会議室

〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分
地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分
JR「千種」駅徒歩5分（メルパルク北隣）



創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13
Tel/Fax 052-684-5894 (直通090-8474-6363)
Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp
URL: http://s-sophy.com

創企舎ソフィ

検索